

都市緑化を活用した猛暑対策事業(R6)

目的

2025大阪・関西万博を機に国内外から多くの来阪者が予想されることから、多くの府民をはじめ『不特定多数の人が集まる駅前広場・駅周辺、観光スポットにおける暑熱環境の改善』に係る取組みを重点的に支援

概要

- 補助制度の概要：暑熱環境改善に係る取組を補助
- 事業箇所数：6～10箇所程度（補助事業者を募集の上、選定）
- 事業期間：令和6年度から令和7年度まで（2カ年で集中的に実施）
- 補助率・補助額：補助率:10/10
補助上限:5千万円

【当初計画】

年度	計画	R6	R7
箇所数	6箇所程度	4箇所程度	2箇所程度
事業費 <事務費含>	約3億円	約2億円	約1億円

条件等

■補助対象者

府内市町村、民間事業者(鉄道事業者、商業施設事業者等)
複数の民間事業者等で構成される団体

■事業実施場所 (以下のいずれか)

駅前広場
駅周辺

- ・1日の乗降者数5万人以上の駅
- ・万博会場へのシャトルバス発着場のある駅

観光スポット

- ・年間利用者数30万人以上

■整備する設備 (以下の両方を整備)

都市緑化
(地上部・建築物)

- ・地上部緑化は、原則、地植え
(ただし、大型プランターの場合は要相談)

暑熱環境
改善設備

- ・日除け、微細ミスト発生器の設置、
打ち水ルーバーの設置等

採択方法

提出された事業計画等について、専門家で構成する「大阪府都市緑化を活用した猛暑対策有識者会議」において意見を聴取した上で、審査を行い、予算の範囲内で事業を採択。

<主な評価の視点>

- ①公益性
- ②緑量(緑被率、緑視率等)
- ③暑熱改善効果
- ④配置・デザイン性
- ⑤整備費用

【留意事項】

- ✓ 都市緑化に要する経費は、補助対象経費の10%以上とすること。
- ✓ 事業計画は、過去5年間に複数の緑化計画立案の実績がある、または緑化計画に係る公的資格であるランドスケープアーキテクト(RLA)を有した者が作成又は監修した計画であること。

都市緑化を活用した猛暑対策事業(R6)

■ 令和6年度事業実施概要

【募集期間】

令和6年4月15日(月曜日) から5月31日(金曜日)

【応募・採択状況】

応募箇所数 4箇所 ・ 採択箇所数 3箇所

【採択額】

103,805千円

■ 採択箇所

採択箇所	採択額
なんばhatch	41,305千円
中之島GATE	50,000千円
JR・大阪駅(三角広場)	12,500千円
合計	103,805千円

■ 今後の流れ

●大阪府 ○R6補助事業者

スケジュール	令和6年度事業	評価審議会
~5月末まで	○応募書類の提出	
7月	●有識者会議を開催し、事業計画についての意見、アドバイスを聴収 ●聴収した意見、アドバイスを基に事業採択	第18回「評価審議会」 ・ 令和5年度事業の整備状況報告 ・ 令和6年度事業の概要及び 取組み状況報告
7月~9月	R4繰越,R5整備箇所 効果測定	
9月末まで	R4繰越,R5整備箇所 効果測定結果 報告	第19回「評価審議会」 ・ 令和6年度事業の採択箇所及び 取組み状況報告 ・ 令和5年度事業の評価の依頼
~3月7日	○令和6年度事業の竣工	
3月下旬まで	●令和6年度事業の竣工を確認し、補助金を確定	

令和6年度

R6事業実施個所



なんばhatch

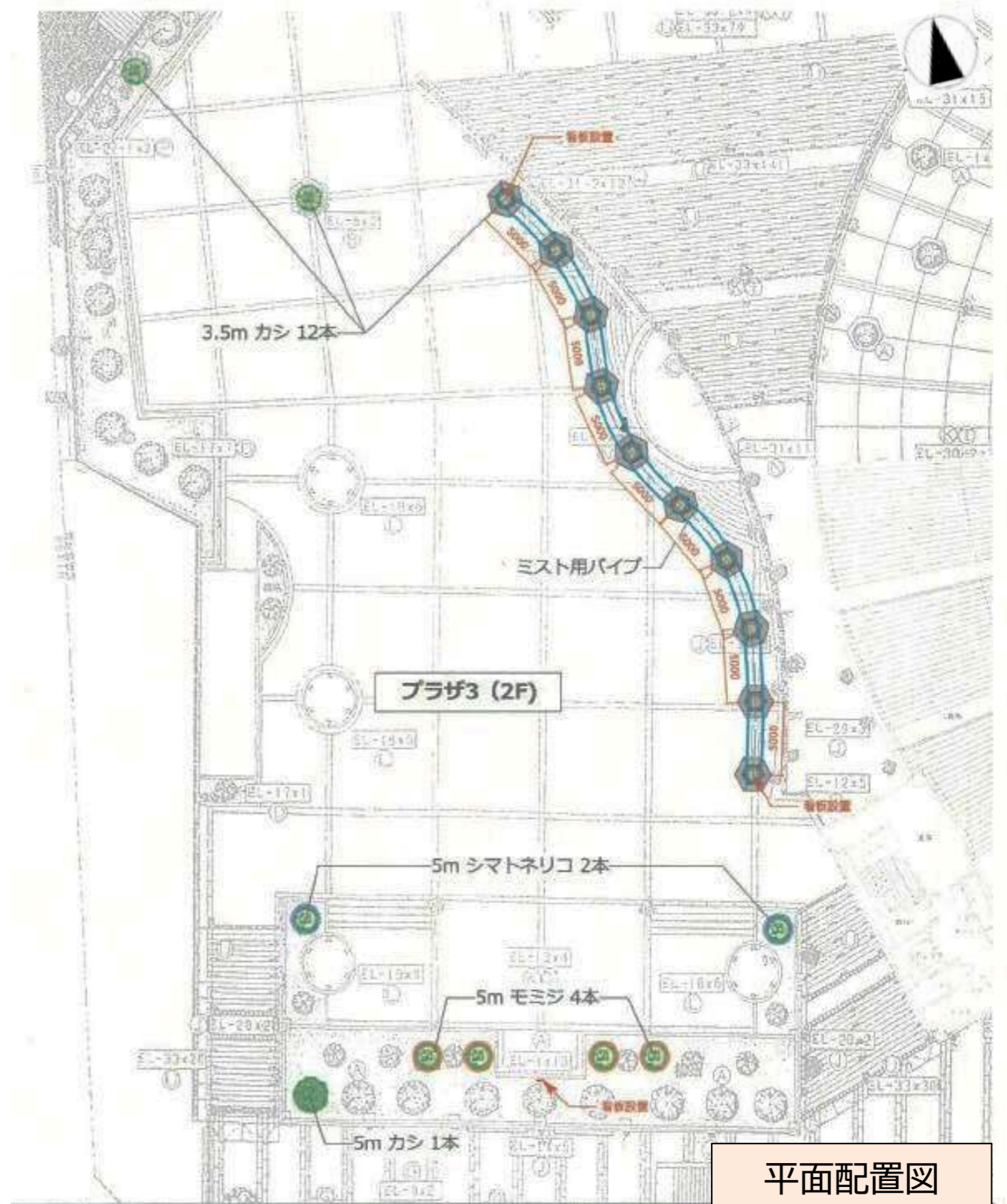


イメージパース



●暑熱環境改善設備の内容

- ・微細ミスト発生器 ノズル120個
- ・遮熱性ベンチ 10基



●緑化の内容

○広場の外周（東西南）に高木を植栽

○樹種、樹高/本数

- ・シラカシ 樹高5.0m/1本、樹高3.5m/12本
- ・シマトネリコ 樹高5.0m/2本
- ・モミジ 樹高5.0m/4本

中之島GATE (万博シャトルシップ発着場)

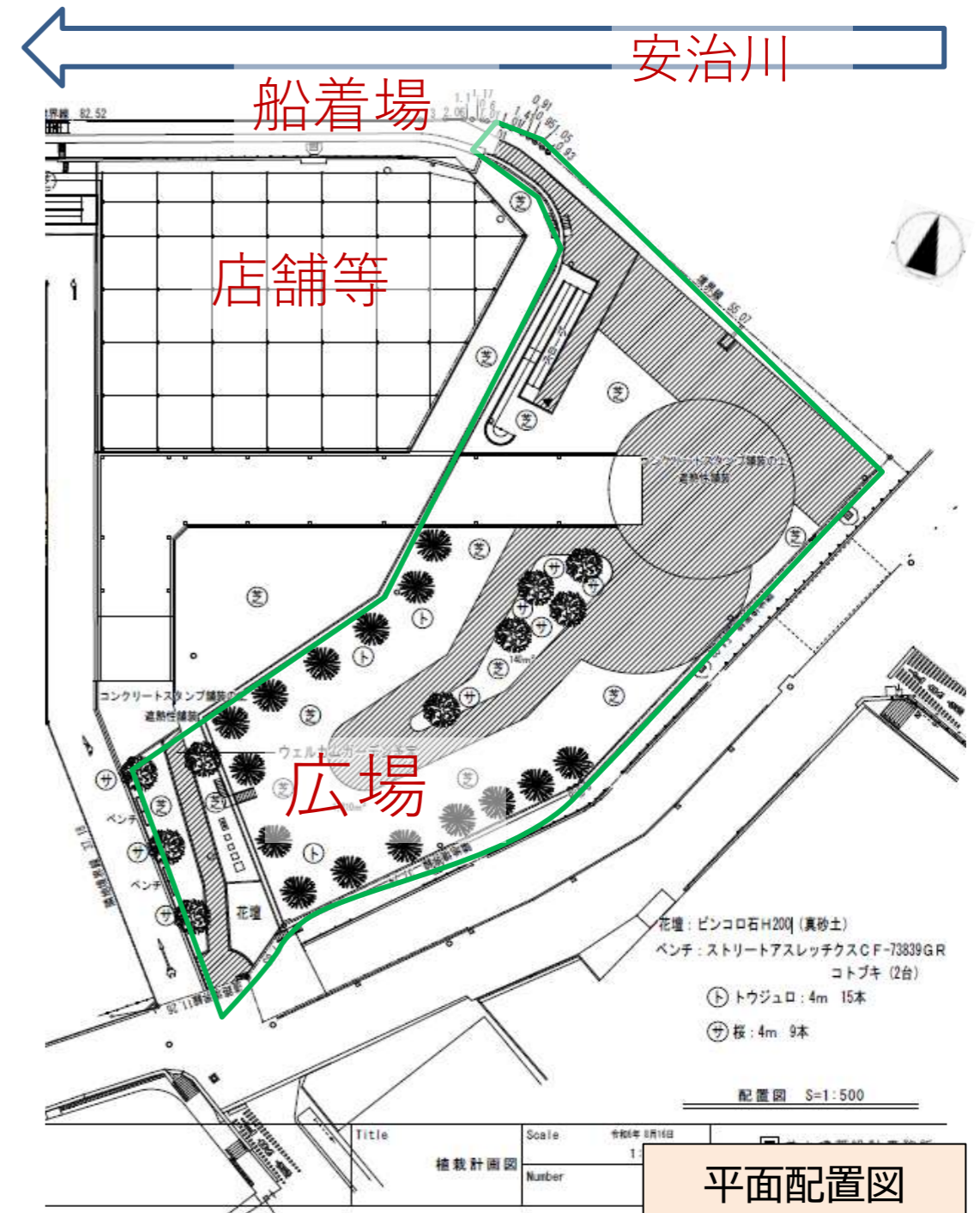


●緑化の内容

- 広場の外周及び中央部に高木を植栽
- 樹種、樹高/本数
 - ・サクラ、トウジュウロウ 樹高4.0m/計24本
 - ・芝 2,123㎡

●暑熱環境改善設備の内容

- ・遮熱性舗装 1,151㎡
- ※広場中央部から東側にかけて設置



TOHO LEO

高空間・貯留浸透基盤材

グリーンアクアミックス

【都市型集中豪雨(ゲリラ豪雨)に対応】+【グリーンインフラ活用】で
まちの賑わい・まちの魅力アップ

■グリーンアクアミックスとは、
リサイクル骨材を使用し単粒度に調整した後に、表面をコーティングした
多機能性を発揮できる雨水貯留浸透基盤材です。

- ・空隙率(開孔率)14%を実現。
- ・積載基礎としての性能もあわせもつ。
- ・ヒートアイランド現象の緩和…保水性舗装材との併用による蒸発、
樹木の葉からの蒸散作用により気温を下げる効果。

雨水貯留浸透基盤材を採用すれば、雨水の貯留・浸透・蒸発作用により、
都市型集中豪雨への対応力も向上し、まちの魅力を向上させることができます。

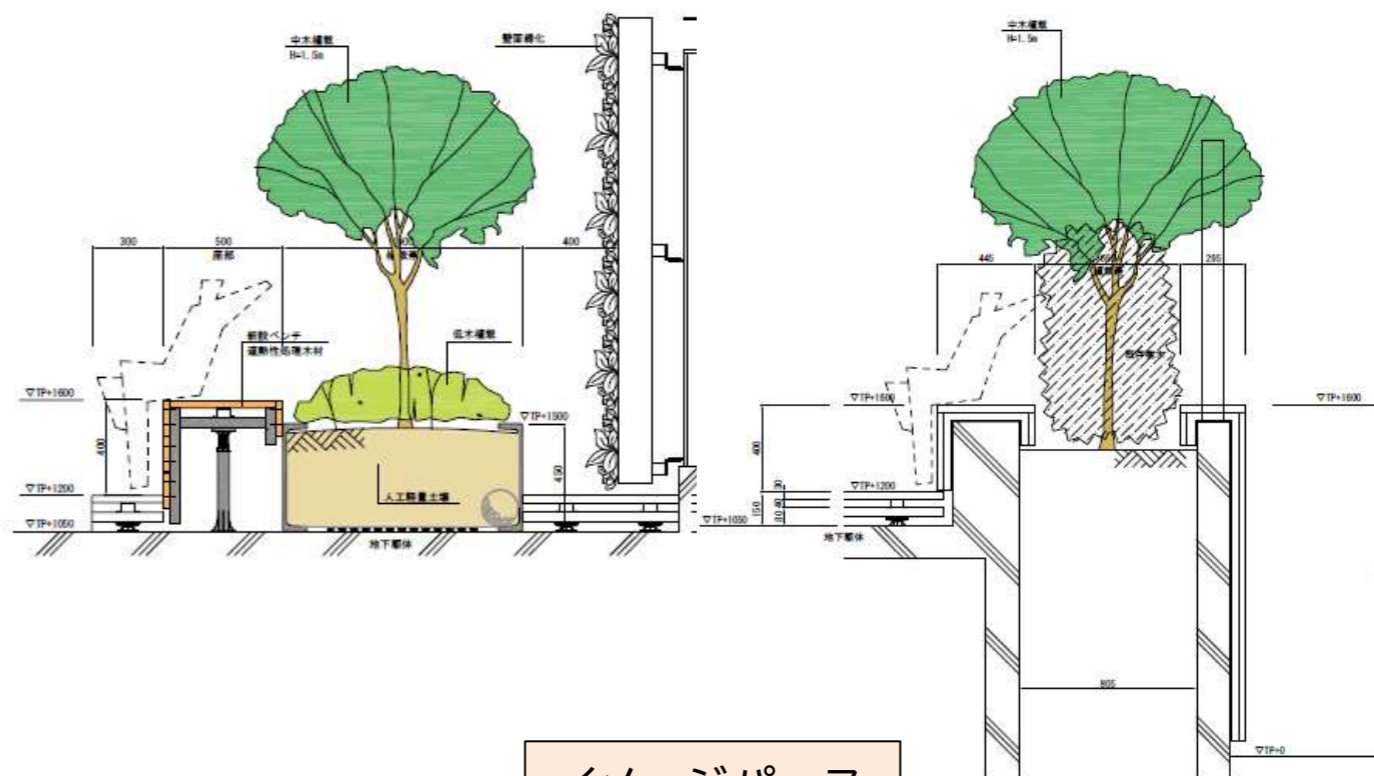


雨水貯留浸透基盤材を採用

JR・大阪駅(三角広場)



現況写真



イメージパース

●緑化の内容

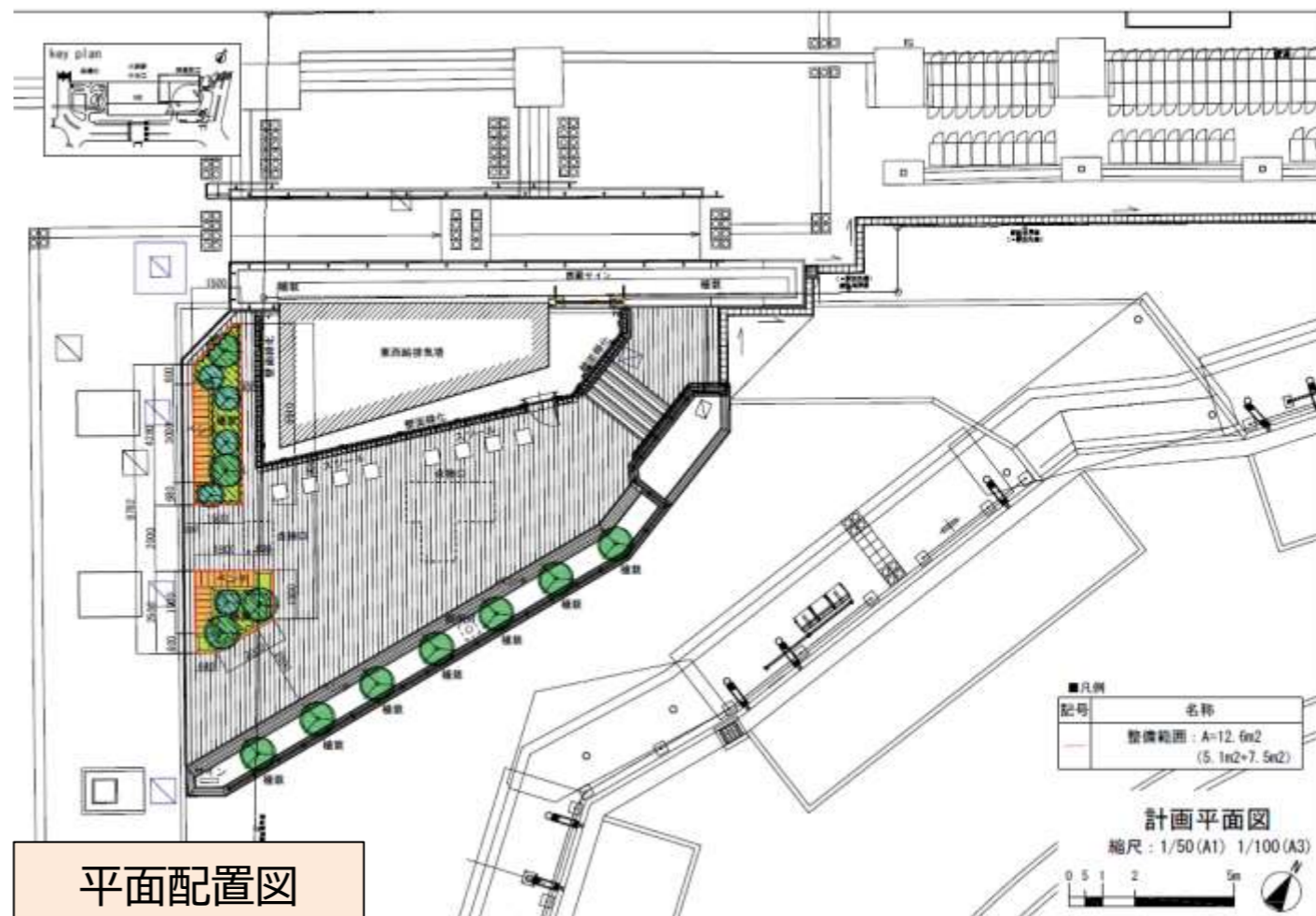
○南側日射に対しベンチで休憩できる緑陰を配置

○樹種、樹高/本数

- ・ シラカシ 樹高1.5m/4本
- ・ トキワマンサク 樹高1.5m/5本
- ・ ネズミモチ 樹高1.5m/7本
- ・ プリペット 樹高0.5m/26本
- ・ マメツゲ 樹高0.5m/31本

●暑熱環境改善設備の内容

- ・ 遮熱性人工芝 98.0㎡
- ・ 遮熱性ベンチ 延長6.2m×幅0.5m



平面配置図

記号	名称
■ <td>整備範囲: A=12.6m² (5.1m²+7.5m²)</td>	整備範囲: A=12.6m ² (5.1m ² +7.5m ²)

計画平面図

縮尺: 1/50 (A1) 1/100 (A3)

